Issue3.0 Ver. SCS中社 2009/03/17 更新者 更新日 SPF.NO SPF名勢 システムプロセスフロー記入時の注意事項 ・機能単位(標準機能含む)で記入すること ・MNDUT、OUTPUTもにメインデブルは必ず記入すること ・J.下機能の場合、相手先システムを記入すること ・ 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること ・ フローが複数シートになる場合、(一① / ① →)のように番号でフローの繋がりを 明確にすること ・ コンステムプロセスフローとすること ・ コローが複数シートになる場合、(一① / ① →)のように番号でフローの繋がりを 明確にすること SCS 国 END 2008/06/10 作成者 信題的イベント START/END 作成日 説明: 営業員在庫情報・気づき情報・VDコラムマスタ情報をHHTに連携します ※T_BR040_COO_570_ マッピング済みビジネ ス・データ(営業員在庫 77/L)、xls参照 570 営業員在庫 ファイル 市市 営業員在庫F出力 領域名:テープ ア名称 COI_010_A01 <u>処理概要</u> HTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。 ①営業債有価情報 ②気つき情報 ③NDコラムマスタ情報 システム連携のみ 処理タイミング、その他 連用時間終了後に1回/日実行する。 テーブル名称 本社商品区分を取得 ・容器群コードを取得 ・営業員コードを取得 ・品目コードを取得 パッチ名称 日次在庫受 払表 品目カテゴリ 保管場所 品目マスタ START MD050_SPF_COI_010 HHT情報連携 帳票名称

ORACLE

SPF接続ポイント

BP080_システム プロセスステップ

Issue3.0 Ver. SCS 中村 更新者 2009/03/17 更新日 SCS 国三国 END 2008/06/10 作成者 作成日 システムプロセスフロー記入時の注意事項 説明: 営業員在庫情報・気づき情報・VDコラムマスタ情報をHHTに連携します 640 気づき情報 ※T-物流.気心き情報メソナ補助資料 1080527.xls参照 ※T_物流_気心き情報 メンナ.pot参照 保管場所マスタに設定されている気づき情報を取得し、CSVファイルに出力します。 気づき情報のHHTへの インターフェース連携 ・登録される気づき情報 「売り切れ時間」 「補充率」 「ホット在庫」 保管場所DFFを想定 気づき情報FH出力 COI_010_A02 <u>処理概要</u> HHTへ連携する為、EBSの以下のオブジェクトをCSVファイルに出力する。 ①営業責在庫情報 ②気づき情報 システム利用者 システム利用者 システムがの 処理分名シグ、その他 運用時間終了後にI回/日実行する。 保管場所 START MD050_SPF_COL_010 HHT情報連携



SPFA的 SPF名称 SPF接続ポイント

定期的イベント

市市

データ ファイル名

御城名: ナーブ ア名称

バッチ名称

帳票名称

BP080システム プロセスステップ

Issue 3.0 Ver. SCS 中村 更新者 2008/03/17 更新日 SCS 国国 END 2008/06/10 | 作成者 作成日 システムプロセスフロー記入時の注意事項 説明: 営業員在庫情報・気づき情報・VDコラムマスタ情報をHHTに連携します 560 ベンダ在庫 マスタ VDコラムマスタ情報のうち、前回送信分との差分をフラットファ イルに出力します。 VDコラムマスタ HHT連携 COI_010_A03 処理概要 「企業長在庫情報 「企業を信任権報 ②気がコラムマスタ情報 ③NDコラムマスタ情報 システム連携および拠点。内務担当者 コンカレントの随時集行は可能だが、HHTまで全で連携可能かは未定) 顧客移行日を取得 ・品目コードを取得 ・顧客コードを取得 <u>処理タイミング、その他</u> 運用時間終了後に1回/日実行および手動により随時実行する。 前回送信からの差分を出力する。 ※T_BR040_COO_540_マッピング 済みビジネス・データ(ベンダ・在庫 マスタ)Draft1A_080515.xls参照 コラムマスタ 品目マスタ 顧客マスタ 顧客移行 情報 9 START MD050_SPF_COL_010 HHT情報連携

SPF-NO SPF名称 SPF接続ポイント

に基的イベント

START/END

邮

テーブル名称

パッチ名称

MD050_SPF_COI_010_HHT情報連携.vsd

BP080・システム プロセスステップ

凡例: